

## エゾシカ個体数カウント調査 実施結果(釧路自然環境事務所)

### ①細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査

釧路湿原自然保護官事務所アクティブレンジャーが、細岡展望台からプロミナを使って湿原内のシカの数のカウントした調査。2006年12月から実施。

#### ○実施方法

- ・秋～春期を中心に、月3回(上・中・下旬)、極力11～13時の間に実施。
- ・プロミナを用いて個体数をカウントし、確認位置を図示(散在する場合は省略)。

#### ○結果

- 図1：2007年以降の確認頭数のグラフ
- 図2：2011年5～6月のシカ確認位置図
- 図3：2011年10月～2012年3月のシカ確認位置図
- 図4：2013年2～5月のシカ確認位置図

### ②ヘリコプターによるエゾシカ個体群調査

2012年3月12日に、北海道新聞の協力(報道ヘリを使用)により実施。

#### ○実施方法

- ・ヘリコプターの両窓側に観測手を配置(環境省職員)し、国立公園のほぼ全域を蛇行しながら個体数をカウント。
- ・観察地点をGPSで記録し、個体群の大きさと位置を図示。

#### ○結果

- 図5：ヘリコプターによるエゾシカ個体群調査結果

図1：細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査結果  
(2007～2013年)

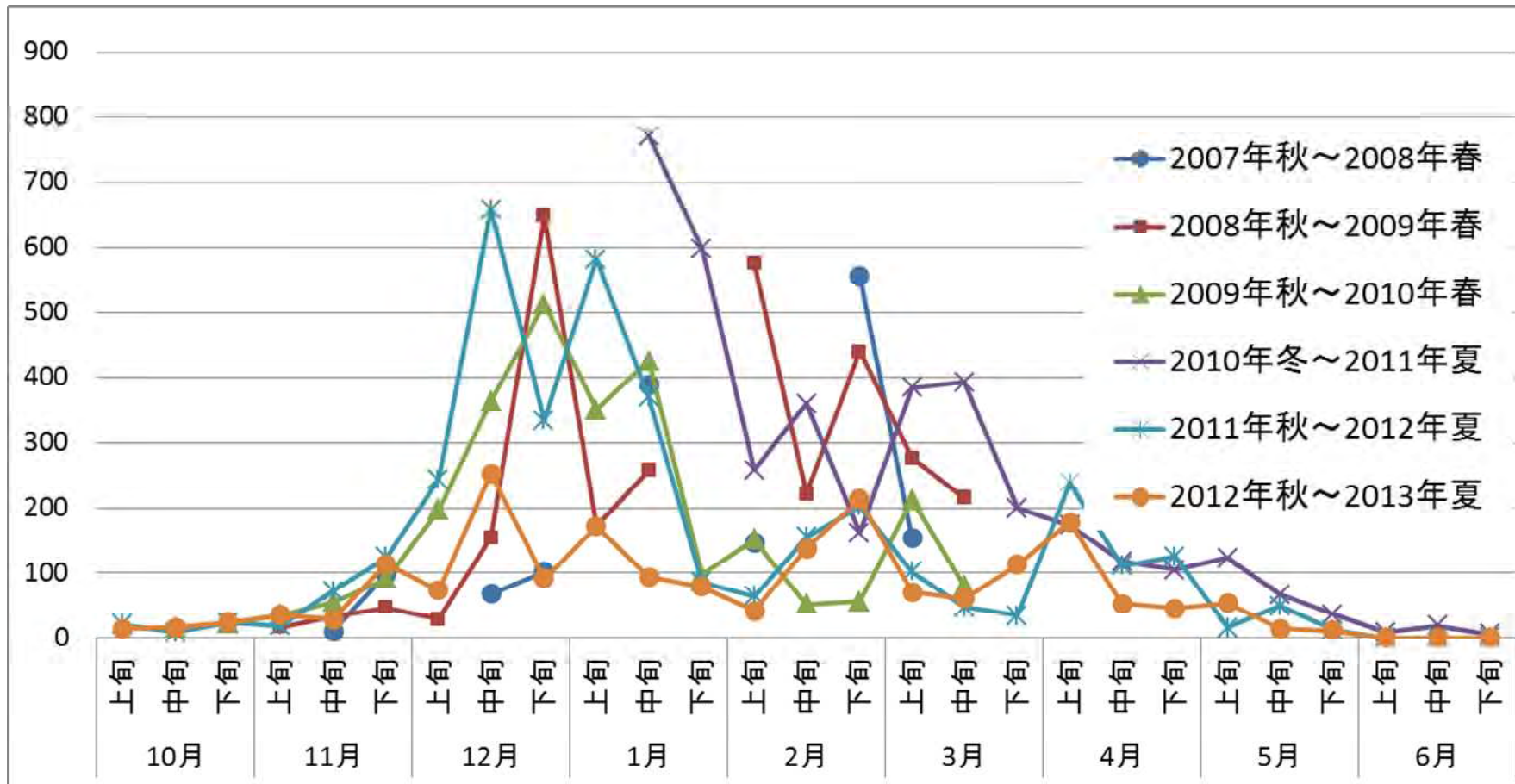
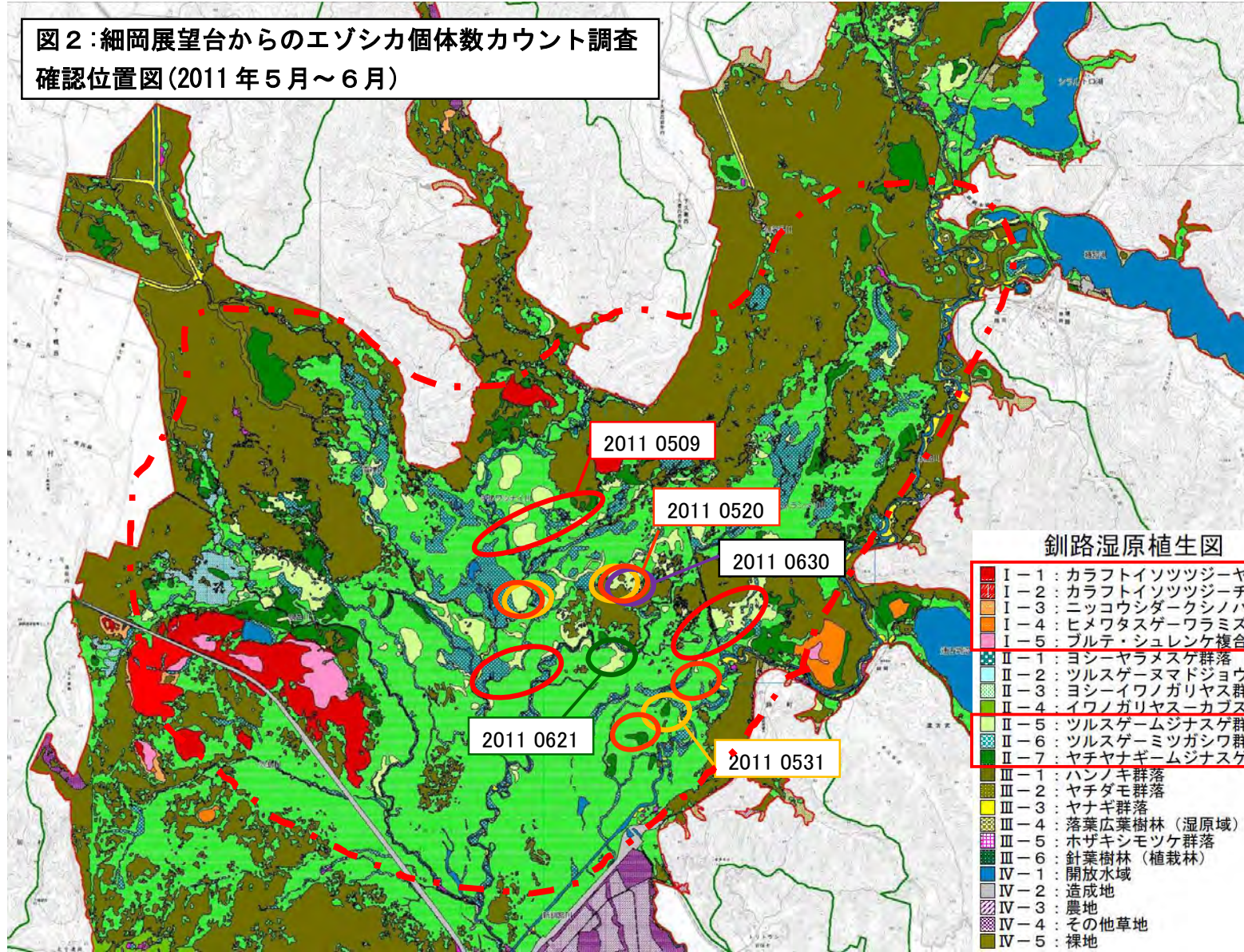


図2：細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査  
確認位置図(2011年5月～6月)



釧路湿原植生図 凡例

- I-1 : カラフトイソツツジ-ヤチツツジ群落
- I-2 : カラフトイソツツジ-チャミスゴケ群落
- I-3 : ニッコウシダ-クシノハミスゴケ群落
- I-4 : ヒメワタスゲ-ワラミスゴケ群落
- I-5 : プルテ・シュレンケ複合体群落
- II-1 : ヨシ-ヤラメスゲ群落
- II-2 : ツルスゲ-ヌマドジョウツナギ群落
- II-3 : ヨシ-イワノガリヤス群落
- II-4 : イワノガリヤス-カブスゲ群落
- II-5 : ツルスゲ-ムジナスゲ群落
- II-6 : ツルスゲ-ミツガシワ群落
- II-7 : ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落群落
- III-1 : ハンノキ群落
- III-2 : ヤチタモ群落
- III-3 : ヤナギ群落
- III-4 : 落葉広葉樹林 (湿原域)
- III-5 : ホザキンモツケ群落
- III-6 : 針葉樹林 (植栽林)
- IV-1 : 開放水域
- IV-2 : 造成地
- IV-3 : 農地
- IV-4 : その他草地
- IV-5 : 裸地



図3：細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査  
確認位置図(2011年10月～2012年3月)

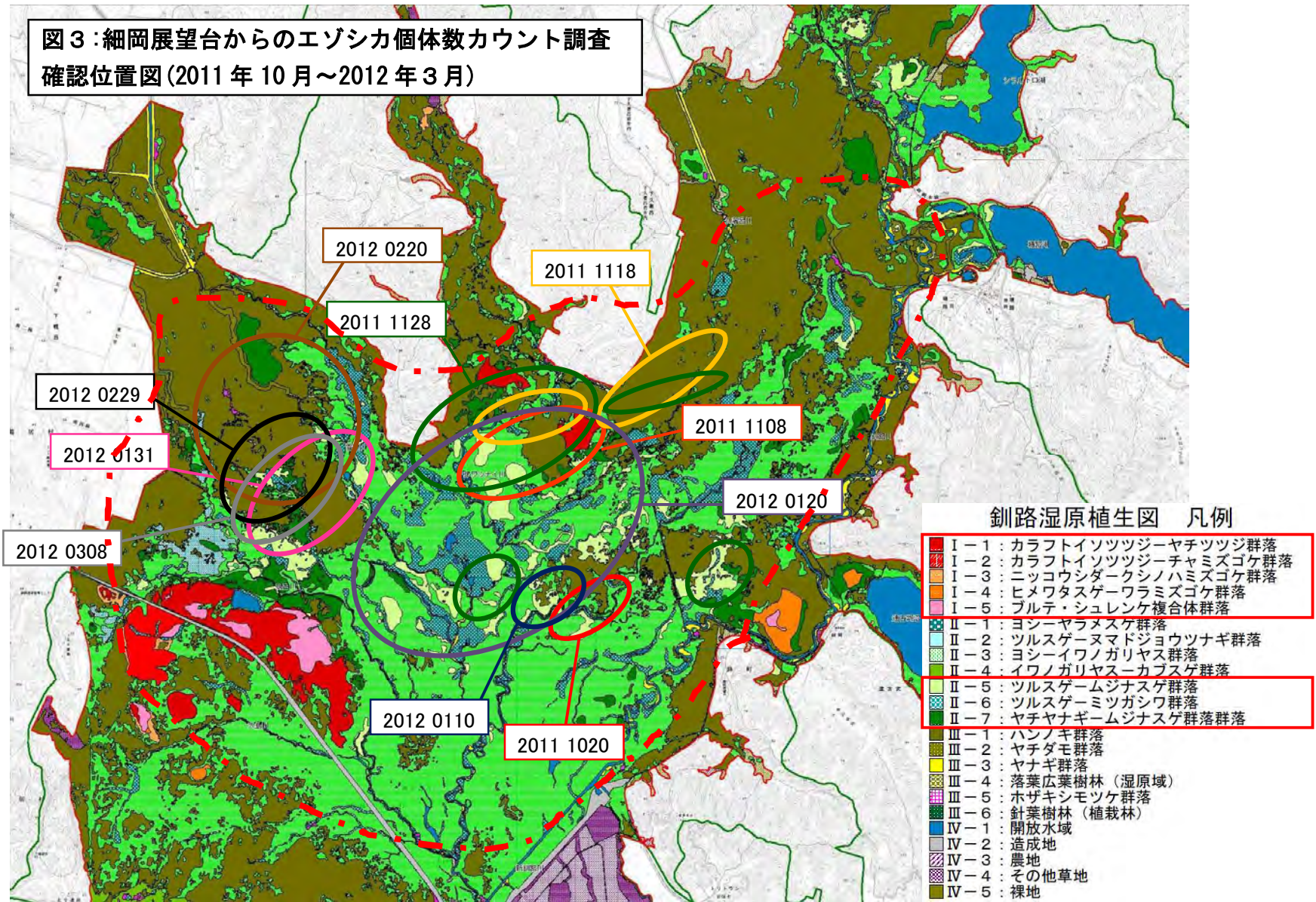
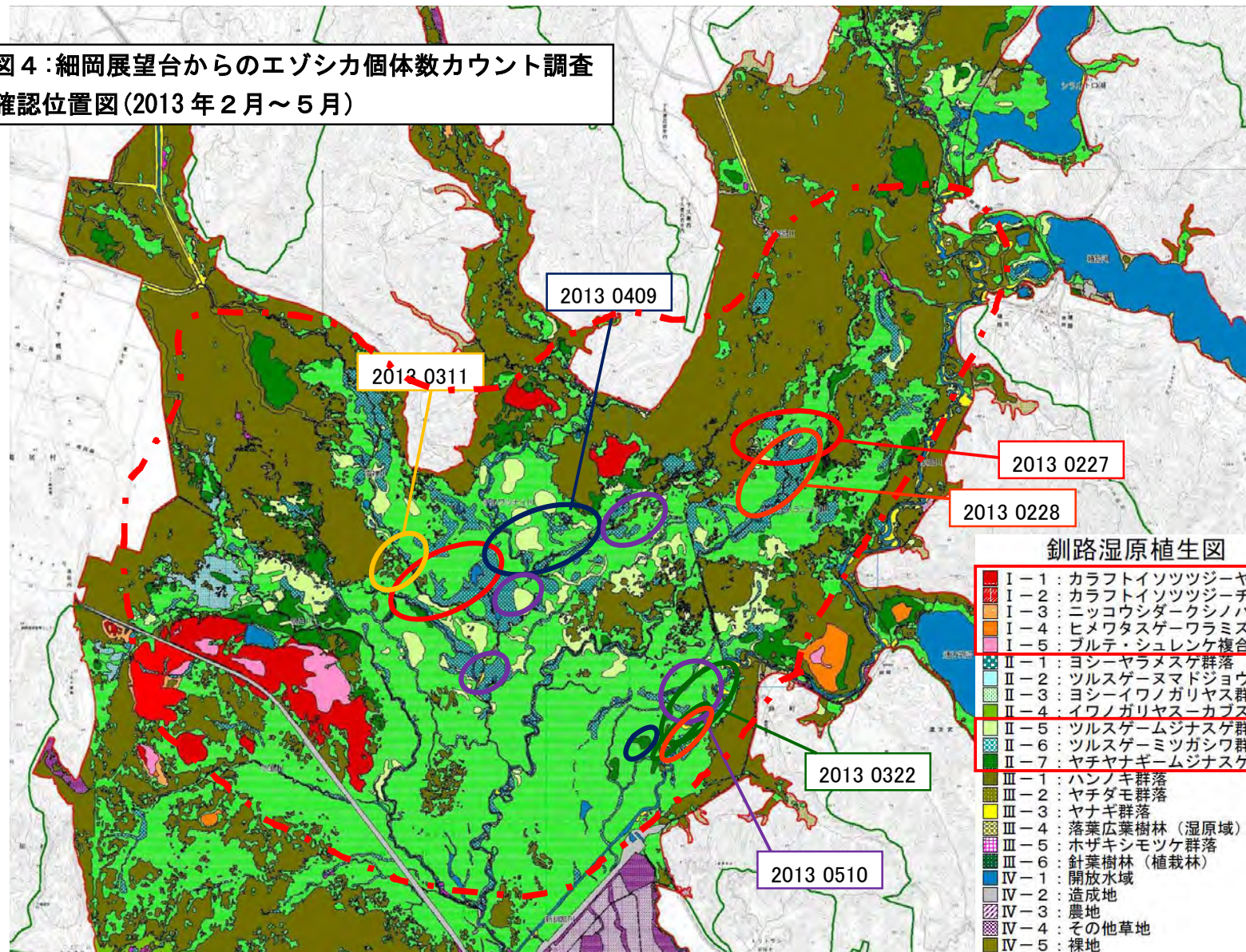




図4：細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査  
確認位置図(2013年2月～5月)

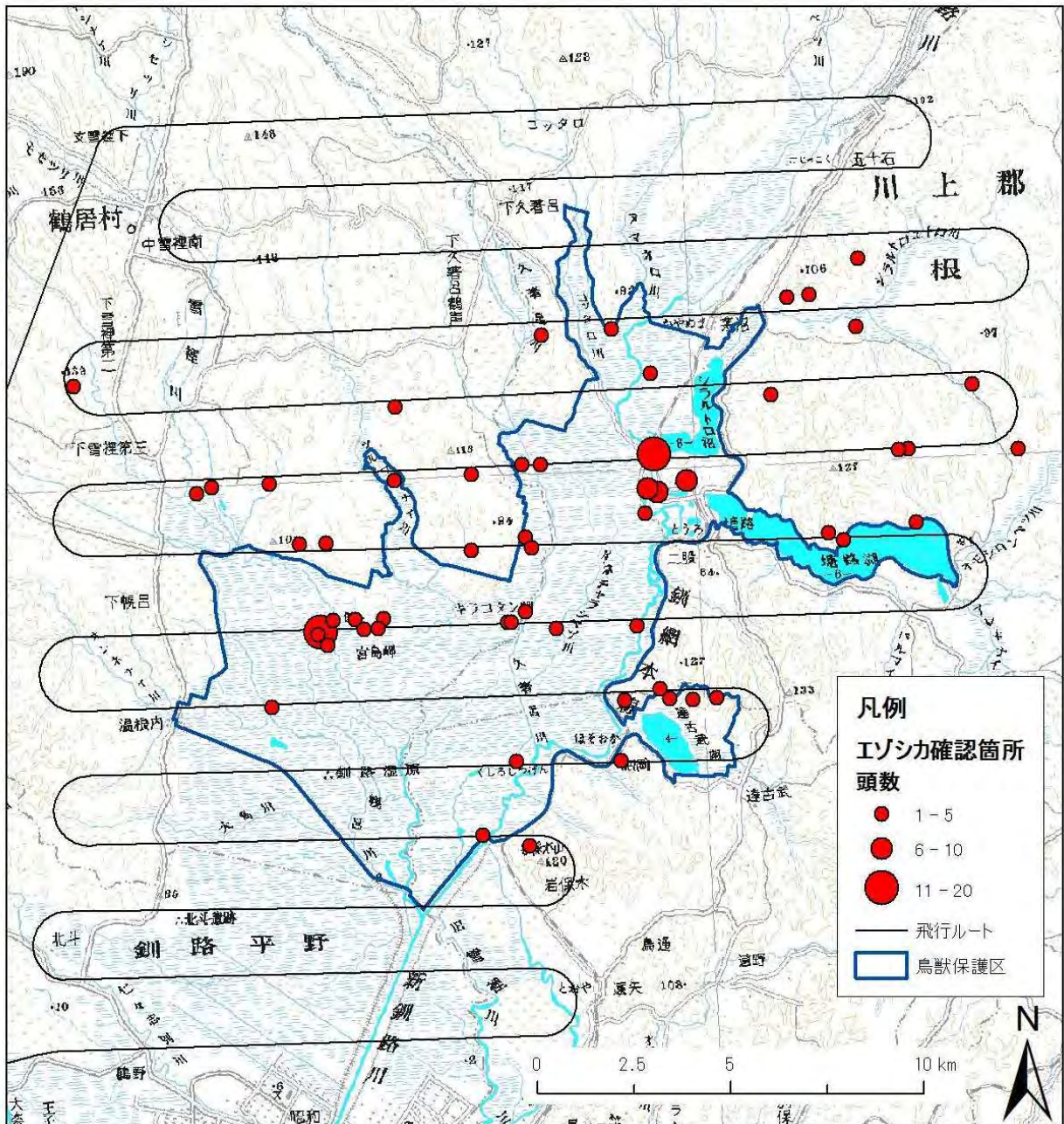


釧路湿原植生図 凡例

- I-1 : カラフトイソツツジーヤチツツジ群落
- I-2 : カラフトイソツツジーチャミズゴケ群落
- I-3 : ニッコウシダークシノハミズゴケ群落
- I-4 : ヒメワタスゲーワラミズゴケ群落
- I-5 : プルテ・シュレンケ複合体群落
- II-1 : ヨシヤラメスケ群落
- II-2 : ツルスゲーヌマドジョウツナギ群落
- II-3 : ヨシイワノガリヤス群落
- II-4 : イワノガリヤスーカブスゲ群落
- II-5 : ツルスゲームジナスゲ群落
- II-6 : ツルスゲーミツガシワ群落
- II-7 : ヤチヤナギムジナスゲ群落群落
- III-1 : ハンノキ群落
- III-2 : ヤチダモ群落
- III-3 : ヤナギ群落
- III-4 : 落葉広葉樹林 (湿原域)
- III-5 : ホザキシモツケ群落
- III-6 : 針葉樹林 (植栽林)
- IV-1 : 開放水域
- IV-2 : 造成地
- IV-3 : 農地
- IV-4 : その他草地
- IV-5 : 裸地



図5：ヘリコプターによるエゾシカ個体群調査調査  
(2012年3月12日)



## ○まとめ

### ①細岡展望台からのエゾシカ個体数カウント調査

#### <個体数>

- ・平年値としては、12月～2月に確認頭数が多く、ピークにはおおよそ500～770頭が確認される。
- ・多雪であった2012～2013年の冬期には、最大確認頭数252頭であり、これまでの年と比べて2～3分の1であった。
- ・同じく多雪であった2011～2012年の冬期では、積雪の増加した1月下旬以降確認頭数が減少した。

#### <分布>

- ・秋～冬期には宮島・キラコタン岬の南側で多く、春期には湿原中央部や細岡周辺で多い傾向。
- ・ミズゴケ湿原やヨシを主体とする低層湿原はあまり利用せず、ムジナスゲを含むような中～高層湿原を好んで利用しているように見える。

### ②ヘリコプターによるエゾシカ個体群調査

- ・宮島岬南側や二本松周辺、達古武湖の北側で多い傾向。
- ・湿原南部にはほとんど見られない。
- ・宮島岬南部の個体群は、2012年3月8日の細岡からの調査結果と一致。